

ヴェリタスⅡ ルーブリックー研究プロセスー

評価 (得点)	創意工夫	協働力 *個別に評価	課題設定 仮説 *課題設定と仮説 を合わせて評価	実験方法 データ分析 *実験方法と結果 を合わせて評価	考察
十分 (4点)	実験器具や装置、データの取り方などを自主的に工夫し、適切に実験を進めている。	研究チームでの話し合いや実験、発表準備において、積極的にアイデアを出したり、コミュニケーションを図ったりしている。	独自性のある課題設定で、社会的(国際的)・科学的に意義があり、先行研究を踏まえて適切な仮説を設定している。	対照実験や統計処理の方法が仮説の検証に適切である。定量・定性的なデータを収集し、適切に処理・分析し、グラフ(図)の形式が適切である。誤差や近似曲線等が必要な場合も適切に処理している。	多角的に考察をすすめ、適切な説明を行っている。
おおむね 十分 (3点)	助言を生かしながら実験器具や装置、データの取り方などを工夫しつつ、実験を進めている。	研究チームでの話し合いや実験、発表準備において、主体的な言動が見られ、チームに貢献している。	課題設定に独自の視点が盛り込まれ、先行研究を踏まえて仮説を設定している。課題を社会的(国際的)・科学的な視点からも捉えている。	対照実験や統計処理がなされ、仮説の検証を行っているものの、妥当性にやや欠ける。定量・定性的なデータを収集し、処理・分析がなされ、グラフ(図)化することができる。	考察の視点に物足りなさがあるものの、ある程度適切な説明を行っている。
やや 不十分 (2点)	指導・助言に従って実験器具や装置、データの取り方などを工夫し、不十分ながらも実験をしっかり進めている。	積極性に欠けるものの、チームに貢献しようとする言動が見られる。	課題設定に独自性がやや欠けているものの、先行研究を意識して仮説を設定している。	対照実験や統計処理がほとんど行われておらず、仮説の検証として妥当性に欠ける。定量・定性的なデータの収集が十分でない。データの処理・分析がほとんど行われておらず、グラフ(図)化することもできていない。	考察の視点がやや狭く、説明にあまり説得力がない。
不十分 (1点)	研究プロセスにおいて工夫が見られず、十分な実験を進めることができていない。	協力的な言動が見られない。	課題設定に独自の視点が欠けており、先行研究を踏まえた仮説の設定になっていない。	対照実験や統計処理の方法が仮説の検証になっていない。定量・定性的なデータを収集できていない。データの処理・分析がなされていない。	考察の視点が不明確で、説明に説得力がない。